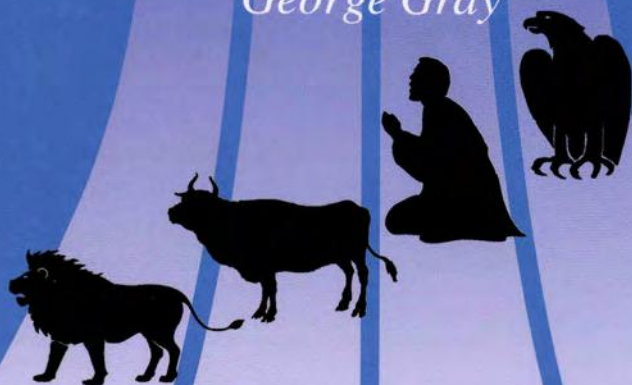


四福音書に描かれた
キリストの四つの肖像

Four Portraits of Christ
by
George Gray



ジョージ・グレー 著

四福音書に描かれた

キリストの四つの肖像

ジョージ・グレー著

Four Portraits of Christ

by
George Gray

Originally published as a
One Mediator
— a fourfold revelation —

**Evangelical Publishers
Tokyo, Japan**

目次

象徴の意味 6

著者について 7

はじめに 9

第一章 序論 13

唯一の仲介者 16

第二章 チャート 20

垂れ幕 22 四つの色 24

ケルビム 27

次章以降の学びについて 30

第三章 マタイの福音書について 31

巻き物 34 王冠 37 かぎ 39

第四章 マルコの福音書について 43

注ぎ出されたお方 48 奴隷 49

第五章 ルカの福音書について 53

平和の鳩 59 医者のしるし 62

第六章 ヨハネの福音書について 65

愛の象徴 75 幕屋 78

第七章 主の宣教 89

マタイが記した主の教え 89 マルコが記した主の教え 115

ルカが記した主の教え 122 ヨハネが記した主の教え 128

第八章 奇跡 144

マタイが記した奇跡 155 マルコが記した奇跡 159

ルカが記した奇跡 162 ヨハネが記した奇跡 172

第九章 十字架 182

マタイの福音書における十字架 184 マルコの福音書における十字架 192

ルカの福音書における十字架 196

ヨハネの福音書における十字架 204

第二〇章 埋葬 210

第二一章 復活 219

マタイの福音書における復活 219

マルコの福音書における復活 223

ルカの福音書における復活 226

ヨハネの福音書における復活 233

第二二章 四十日間 238

第二三章 しばらくの間 246

第二四章 未来の栄光 253

第二五章 結び 263

象徴の意味

4つの色 — 4種類の栄光
ケルビム — 活動を示す4つの生き物
ラッパ — 主の宣教、公生涯
歯車 — 奇跡、力あるわざ
ユリの花 — 復活
王座 — 未来の栄光

マタイの福音書（しし）

巻き物（旧約聖書） — 成就した預言
王冠とかぎ — 王国（御国）の真理

マルコの福音書（雄牛）

注ぎ出されたお方 — ご自分を無にされた生涯
鎖でつながれた両手 — しもべの姿

ルカの福音書（人間）

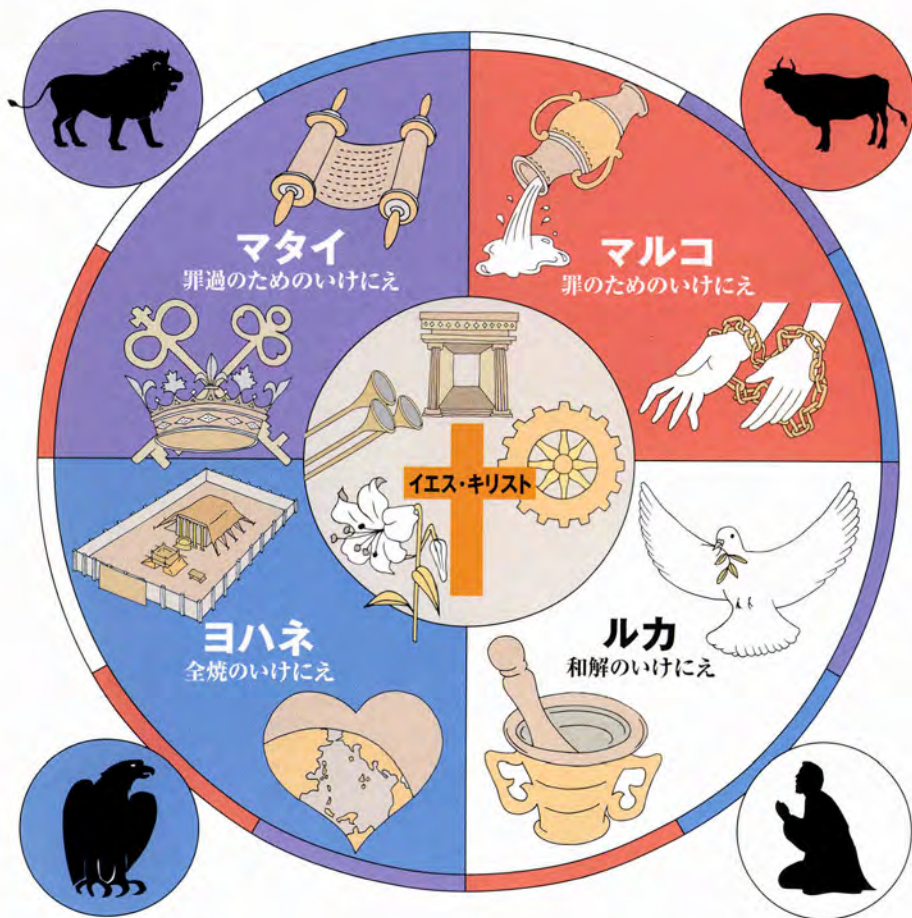
鳩 — 平和の到来を告げるもの
乳棒と乳鉢 — 大いなる医者

ヨハネの福音書（わし）

ハートの中のこの世界 — ヨハネ3章16節
幕屋 — 肉において現れた神

4つの面から啓示された 唯一の仲介者

One Mediator
A Fourfold Revelation



著者について

ビクトリア時代に生まれたスコットランド人ジョージ・グレーは、最初、衣料品のデザイナーとしてクライド・リバー社に勤めていました。彼は少年のころに救われ、十代ですでに、グラスゴウの公園で路傍伝道をしていました。当時は大英帝国がもつとも栄えた時期で、海外宣教も活発に行われており、若いグレーもオーストラリアへ旅立とうとしていました。しかし、ちょうどそのころ、彼は偉大な伝道者アレキサンダー・マーシャルからアメリカへ行くように説得されたのです。

その後、彼は数年にわたって、アメリカ西部の平原地帯とロッキーマ脈一帯の伝道に喜んで身をささげ、カウボーイの野営地や鉾山の村で福音を語りました。マーシャルはその開拓の働きを知って大いに喜びました。グレーに好意的なカウボーイたちは、その付近一帯に馬を走らせ、草原の校舎で開かれる福音集会のために多くの人々を連れて来てくれました。彼が去ったあとでカントリーダンスが催されることもありましたが、まかれた福音の種は、神が定めた最善の時期が来るとたく

さんの実を結びました。

二十世紀に入ってまもなく、カンザスで集会を開いていたころ、グレーは、まだ年若い妻を失いました。彼女は大平原に住んでいたスウェーデン人の娘でしたが、幼い三人の子どもを残して先立ってしまいました。このとき、地元のクリスチャンの中に教会家具の工場主がいました。彼は、巡回伝道者だったグレーに、「子どもたちのために家を建て、私の工場でデザインーとして働きながら、週末と平日の夕方に時間を見つけて伝道してはどうか」と強く勧めました。

その後三十年間、デザインーとして（後には工場主として）この仕事に従事したグレーは、その間に、みことばの象徴的な意味について理解を深め、絵や図を用いることによって、旧約の型と新約の教えの意味を、だれにもわかるように説明しました。

著者が専心伝道者として活動を再開したのは、それから二十年後のことで、彼の晩年の学びは、象徴的な意味を解き明かすことによって、彼が愛した四つの福音書の中に、さらなる美を見いだそうとするものでした。彼が作ったチャート——「唯一の仲介者」——に基づいた学びはこれまで二百回ほど行われましたが、さらに多くのクリスチャンを力づけるため、この書籍「キリストの四つの肖像」が出版されました。